

## ㈱タカハタインターナショナル

### お取り寄せ・ご贈答レベルの グルメ商品をチョイスギフトに

「日本一安い」を謳い文句に、ノベルティ商品やギフト商品の輸入・企画・開発・製造を手がけ、ノベルティ業界で確固たる地位を確立する㈱タカハタインターナショナル（本社埼玉県秩父市）。中国やインドに自社工場をもち、徹底した品質管理のもとに安さと品質への信頼を両立。ボールペンなら1本1本、すべてノックしてインクの出具合を実際に確かめてから納品している。

同社が本格的に返礼品に参入した



グルメチョイスギフトカタログ  
「サンク」(5,000円)

のは2012年春。繊維製品を扱う会社や、静岡でお茶を扱う会社などを親族が経営していたこともあり、タオルやシーツなどの繊維製品から日本茶へと移り変わってきた、かつての返礼品のトレンドをみてきた。多様化する消費者ニーズの変化を見据え、同社では、グルメチョイスギフトカタログで本格的な業界参入を目論む。

21×10cmの短冊形のカタログは、ちょうど手に取りやすいサイズ。3,000円、4,000円、5,000円の3つの価格帯を用意、それぞれ1ページに1、2商品、18種から選ぶことができる。5,000円のカタログには、フグの唐揚げや喜多方生ラーメン、函館松前漬け3種詰合せ、宮崎和牛薄切り、鹿児島黒豚メンチカツ、南高梅しそ梅干し、讃岐うどん、北海道利尻昆布、三銘茶（八女茶・宇治茶・静岡茶）など銘品お取り寄せカタログともいべきグルメギフトが並ぶ。

通常、チョイスギフトの卸し値は上代の7掛け、8掛けが多いという。同社では業界参入にあたり返礼品を扱う他社のチョイスギフトカタログなどを研究し、商品が見劣りすることなく掛け率を落とせるよう工夫を重ね、6掛け程度まで落として商品化に踏み切った。葬儀社への営業が

まだ本格化していない現状、返礼品の扱いはそれほど多くないが、半年を過ぎて徐々に葬儀社への認知も広がりがつつある。今後は葬儀社への営業にも力を入れ、同社事業の1つの軸として返礼品の売上げを伸ばしていきたいという。